



動物ってかわいいね。

(財)相模原市みどりの協会主催による「夏休み親子自然観察会」が、去る7月22日(火)に開催されました。これは、夏休みの一日、親子で自然に親しもうというもので、例年行われています。

今回は『雄大な富士山麓の大自然の中で、心も体も思いっきり動かして、夏休みの楽しい思い出をつくろう』という企画で、参加者は市内在住の46家族、128名におよびました。

会場となった朝霧高原・まかいの牧場では、羊にさわったり草をあげたり、牛の乳しぼりをしたり、あちらこちらで子どもたちの歓声があがっていました。鳥を呼ぶ時の道具「バードコール」づくりにも挑戦したりと、とても楽しい一日でした。

来年は、みなさんも「夏休み親子自然観察会」に参加してみませんか。

さがみはら グリーン

Vol.11

平成9年10月1日発行
 編集発行所/財団法人相模原市みどりの協会
 発行所/〒228 相模原市麻溝台2-317番地の1 市立相模原麻溝公園内
 財団法人相模原市みどりの協会 ☎0427(77)2860

財団法人相模原市みどりの協会機関紙



おんががおかあさんの方が一生懸命だね。



牛のはるかちゃんおとなしくしてね。でも、ちよつとかわいいな。

(牛の乳しぼり体験)

(バードコールづくり)

'97オータムフェア

- 秋の動物フェスティバル
 ポニーの無料乗馬、人形劇、モルモット、馬てい投げなど
 5日(日) 9:30~15:30 ふれあい動物広場
- オータムコンサート
 相模原音楽家連盟 4日(土) 1回目 14:00~14:30
 2回目 15:00~15:30 1・2回とも芝生広場、雨天ふれあいドーム
- 竹トンボ講習会・竹馬試乗会
 4日(土)・5日(日) 9:30~15:30 みどりの広場
- かながわ・ゆめ国体 相模原1998 PRコーナー
 PRパンフ配布、ぬいぐるみ 5日(日) 9:30~15:30 センター広場
- 花・植木・野菜等の展示・即売
 4日(土)・5日(日) 9:30~15:30 センター広場 野菜類は水の広場
- 陶器、木工製品等の展示・即売
 市内の地域作業所で作られている各種製品を展示・即売
 4日(土)・5日(日) 9:30~15:30 水の広場



相模原 麻溝公園 10/4±5日

- 秋の公園スケッチ大会・展示会
 子供の部(小学生以下)100名・一般の部(中学生以上)50名(先着順)
 5日(日) 9:30~<一般の部のみ雨天の場合は10日(金)>申し込みは当日
 管理事務所へ(スケッチ用具、弁当等各自持参) 作品展示は5日(日)
 ~30日(木) 管理事務所 1Fホール
 - 秋蒔き種の無料配布
 4日(土)・5日(日) 9:30~先着3,000名 管理事務所前
 - 新潟県京ヶ瀬村特産品展示・即売
 京ヶ瀬村の各種特産品の無料配布及び展示・即売
 5日(日) 10:00~15:00 水の広場
 - 園芸豆図鑑「バラ」の無料配布
 4日(土)・5日(日) 9:30~先着1,000名
 管理事務所 1Fホール
- お問合せは 財 相模原市みどりの協会 TEL0427-77-2860。

可憐な姿をそのまま残したい。

押し花作家として、県立相模原公園の園芸教室講師も務める井尻和子さん。草花の美しい姿を絵にして残しておけるのが押し花の大きな魅力、という井尻さんに、草花や自然に対する思いを語っていただきました。



- 園芸教室の受講者作品
(クリアファイルに押し花)
- 県立相模原公園「緑の相談所」と共催の園芸教室での講習風景。8月3日開催・押し花の作り方、中央が井尻先生。
- 井尻先生作品
県立相模原公園をたくさんの押し花で表現しています。

目に止まる花すべてがいと美しい

「花」との関わりは、記憶をたどっていくと、子どもの頃に疎開した先の岐阜の山から始まったような気がします。横浜に生まれ育ちましたので、その山で見たこともないたくさんのかわいい草花に出会って感動したのを今でも鮮明に覚えています。

その後、生け花に携わったり、日本画を描くなど、ずっと花と関わりは持っていました。でも、押し花を始めてから、花に対する見方が変わってきましたね。一つひとつ違う花の表情、色……、見るほどに自然の造形の不思議さを感じます。そして、目に止まる草花すべてがとて



いように思えるんです。その可憐な姿を絵にして残してあげたい。花の命は短いけれど、美しい姿を留めておけるというのが押し花の一番の魅力ですね。何かの記念にいただいた花束も、思い出としてとっておくことが押し花ならできるんです。

押し花が作ってくれるつながり

回りを見渡してみると、今まで気づかなかった足元にも、野山にも、庭先にも、そして花屋さんにも、本当にたくさんのお花があるんですね。旅行に行っても、景色を見ないでつい、足元ばかり見ていることがよくあります。もちろん摘んでこられない花もありますが、摘める花は旅先でも摘んでできます。目当ての

花があると、咲く時期に合わせてあちらこちら出かけて行くこともあります。

摘んだ花や葉は乾燥剤を使い、十分に乾燥させ保存しておきます。それを絵を描くような気持ちで一つひとつ並べていきます。自然のままの姿で、あるいはメルヘンティックにデザインしたり。キャンパスの上に花の世界が広がっていきます。ハガキに添えて季節の便りにしたり、プレゼントにしたりしますが、喜んでいただけたらやはりうれしいものです。

また押し花をやっていると、家族みんなが花に興味を持つようになるんです。サークルの受講生からは、「孫が、こんな花があったよ」と摘んできてくれた」とか、「主人と一緒に花を探しに行ってくれた」という話をよく聞きます。花のことが家庭の中で話題となり、「コミュニケーションが図れるんですね。

私が教えているあるサークルでは、バザーなどで作品を売って、売り上げを福祉団体に寄付したりと、ボランティア活動にも参加しています。このように押し花を通じて社会に貢献できたり、いろいろつながりができていくというのも素晴らしいことだと思います。

足元の一輪の草花を大切に思えたら

暮らしの中の緑は、私たちに潤いを与え、気持ち癒してくれるものだと思います。庭先に木や花を植えるとか、部屋に花を一輪飾るとか、多くの人に花やみどりを楽しむ気持ちを持ってもらえたらと思います。

街から緑がだんだん少なくなっていく、というのはどこでも聞かれることです。私の住んでいる周辺でも、宅地造成のために空地や林がなくなっています。いろいろな事情があるのでしようが、あそこにはあの花が毎年咲いていたのに、と残念に思うこともあります。

相模原市に来ると、まだまだうっそうとした林が目につきます。木の幹につたが巻きつき共生しているのを見かけました。保護されているのだろうと思います。ただ、そこに人の姿がありません。保護も大切ですが、自然を残しながら人々の憩いの場となる緑地がもっとあったら、と思います。

植物は口をきいてくれませんが、でも立派な命です。芽吹き、花を咲かせ、葉を茂らせ酸

素を提供し、土を作り、水をたくわえ、私たちに多くの恵みをもたらしてくれています。このような植物たちに感謝し、足元の一輪の草花を大切に思えたら、それがやがて自然を大切にしていこうという気持ちにつながっていくのではないのでしょうか。

井尻 和子（いじり かずこ）

一九三四年横浜市生まれ、同市在住。押し花作家、プレスフラワーアート花線はなな代表、横浜市民講師、神奈川デザイン機構会員、神奈川県文化協会会員として多方面で文化に貢献する。数々の個展、グループ展を開くなど、幅広い創作活動を展開している。



国体リハーサル大会 花づくり事業

7月17日より開催された、かながわ・ゆめ国体相模原リハーサル大会に、市民ボランティアの手で競技会場を花のプランター1,800個で飾り、遠来の選手の方々を迎えました。

雨の中、麻溝公園管理事務所前でのプランターづくり作業 写真右
選手の方がすがすがしい気持ちでプレーできることを祈って並べられたプランター、総合体育館前歩道 写真左



相模原市のホームページが開設されました。

みどりの情報も盛りだくさんです。ぜひ、アクセスしてください。お問い合わせ・企画部文化室 電話0427-69-8204 URL <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/>